

第8回材料講習会

材料試験法の新しい展開

主催：日本材料学会 協賛：日本鉄鋼協会、ほか
 期 日 昭和60年12月3日(火)、4日(水) 9:30～
 会 場 京大会館(京都市左京区) Tel. (075)751-8311
 内容

第1日 12月3日(火)

材料試験におけるコンピュータ利用 阪大工 北川 浩
 画像処理技術の材料試験への応用 阪大基礎工 森本 吉春
 透明固体中の超音波伝播の動的観察 新日鉄 川島 捷宏、ほか
 超音波顕微鏡の材料評価への応用 機械技術研 山中 一司

第2日目 12月4日(水)

熱弾性効果を利用した応力分布測定法 小松製作所 野末 康博
 X線CTの材料評価への応用 東芝 谷本 慶哲
 非接触表面形状測定と三次元あらさ計測 小坂研究所 宮本 紘三
 材料試験におけるAEの測定 京大 柳谷 俊
 参加費 会員(協賛学協会含む)
 会社 18,000円, 大学・官公庁 10,000円,
 学生 3,000円 テキスト代込
 申込締切 11月26日
 問合せ・申込先 〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101
 日本材料学会講習会係 Tel. (075)761-5321

「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

テーマ：表面処理

原稿締切日 昭和60年10月11日(金)

最近の表面処理技術の進歩発展はめざましいものがあり、低成長時代に入った鉄鋼業の中にあつて、量的にも質的にも拡大を続けている数少ない製品分野であります。

一方先端技術分野の中でも表面処理はエッチングから薄膜製造技術にいたるまで広く応用され、急速に進展しております。

今回の特集ではこれら表面処理技術を幅広くとりあげる予定です。すなわち、表面解析など表面処理技術を支える基礎技術から、鉄鋼分野においては薄板、鋼管、条鋼線材などまで包含する表面処理製品および製造、利用技術、更には将来応用分野の拡大が予想される新しい表面処理技術まで、下記に例示した内容を含みます。

これらに関連する論文、技術報告など多数の投稿を歓迎いたします。

- ・表面解析と特性
- ・腐食機構、腐食挙動(試験法を含む)
- ・溶融めつき、電気めつき(製造設備、製造技術など)
- ・有機塗覆装(ラミネートを含む)
- ・化成処理
- ・製品特性および利用技術(自動車用、缶用など)
- ・機能性表面処理と新技術(PVD, CVD などを含む)

記

1. 原稿締切日 昭和60年10月11日(金)
2. 発行 鉄と鋼 第72年第8号(昭和61年6月号)
3. 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上がり8ページ以内(表、図、写真を含めて本会所定の原稿用紙40枚以内)

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。

・投稿された原稿は編集委員会において審査されます。

4. 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3F (社)日本鉄鋼協会編集課「表面処理特集号」係
 電話 03-279-6021(代) (注) 投稿時、原稿表紙に「表面処理特集号」と朱書して下さい。